


承認番号:RD 6109-004

文書番号:13128970

平成 25 年 12 月 5 日

石材張り用接着剤

## EPS-20 ソフトタイプ 試験成績書

 株式会社 **オイルixon**  
技術開発センター

## 1. 目的

石材張り用接着剤「EPS-20 ソフトタイプ」の接着性能評価を実施した。

## 2. 試験項目

JIS A 5548 タイプ I に基づく接着強さ試験

## 3. 供試材料

被着材:大理石(40×40×10mm)

下地材:モルタル板(70×70×20mm)

## 4. 試験方法

### 4.1 試験体の作製

標準状態(23±2℃、50±10%RH)において、被着材裏面に接着剤をへらにより塗りつけ、接着層が5mm になるようスペーサーを入れ下地材に張り付け、指圧により圧縮した。なお下地モルタルはあらかじめ23±2℃の水中に7日間浸せきしておき、ウエスで表面をぬぐった後、試験体を作製した。

### 4.2 養生条件

標準…標準状態で168時間養生。

低温硬化…低温(5±2℃)雰囲気中で840時間養生。

温水…低温雰囲気中で168時間養生した後、温水(50±2℃)中に24時間養生。

アルカリ水中…標準状態で168時間養生した後、水酸化カルシウム飽和溶液中に48時間養生。

熱劣化…標準状態で168時間養生した後、高温乾燥(60±2℃)雰囲気中に672時間養生。処理終了後、試験体を標準状態で24時間静置した後測定した。

### 4.3 測定条件

テンシロン万能材料試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。

## 5. 試験結果

表1 引張接着強さ試験結果

養生条件	接着強さ	破断位置
	N/cm <sup>2</sup>	%
標準	327.7	A10G90
低温硬化	347.5	GA10G90
温水	163.9	A100
アルカリ水中	323.8	A100
熱劣化	348.6	B20G80

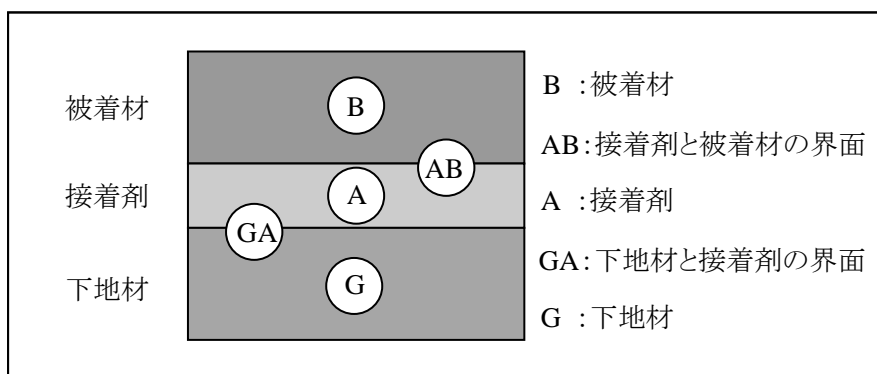


図1 破断位置

## 6. 判定基準

JIS A 5548 タイプ I の判定基準を下記に示す。

表 2 JIS A 5548 タイプ I 判定基準

接着強さ	標準	58.8N/cm <sup>2</sup> 以上
	低温硬化	29.4N/cm <sup>2</sup> 以上
	温水	29.4N/cm <sup>2</sup> 以上
	アルカリ水中	29.4N/cm <sup>2</sup> 以上
	熱劣化	29.4N/cm <sup>2</sup> 以上

注)接着強さは数値以下でもその破断位置が下地材または被着材であれば合格とする。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。

作成:平成 20 年 12 月 25 日 (文書番号:08126780)

改訂:平成 25 年 12 月 5 日 (文書番号:13128970)